

地域連携だより No.2



摂食・嚥下チームのご紹介

当院では、脳血管疾患や廃用症候群などにより、口から食物を摂取できなくなった患者さんを対象に、摂食・嚥下リハビリテーションを実施しています。当院における摂食・嚥下リハビリテーションは、多職種が連携し、各々の患者さんの状態に合わせ、個別に対応したリハビリテーション計画を立案し実施しています。

摂食・嚥下リハビリテーションを担う医療職種

- 歯科医師—摂食・嚥下障害の診断
(VF、VE検査の実施)・訓練計画の立案
- 言語聴覚士—嚥下機能の評価と訓練
- 看護師—バイタルチェックと全身管理
日々の食事介助
- 管理栄養士—栄養管理と食事形態の評価
- 歯科衛生士—口腔機能評価と訓練



多職種によるアプローチによって、また、最新の治療器を使用することで、多くの方が少しでも口から食べられる幸せを感じていただけるようになってきました。食べることの不具合に関してのお問い合わせは地域連携課まで。

当院で摂食・嚥下リハビリテーションに
使用している医療機器



低周波治療器



干渉波刺激装置

社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL : 072-869-0116

FAX : 072-869-0135

発行 : 平成 27 年 10 月

発行者 : 地域連携課

わかくさ竜間リハビリテーション病院

地域連携だより 特別号！！



わかくさ竜間リハビリテーション病院では、自動車運転支援装置「ドライブシミュレーター」を導入しました。

これまでリハビリテーションを受けている入院患者さんや家族さんから自宅退院後の社会復帰に向けて、自動車運転の相談を受けることがありましたが、対応に苦慮することがありました。今回、「ドライブシミュレーター」を導入することで、自動車運転再開に向けての評価や、自動車運転技能の向上を目的としたリハビリテーションを提供することができます。



「ドライブシミュレーター」を設置している医療機関は、全国的にもまだまだ少ないのが現状です。今回、当院で導入した「ドライブシミュレーター（Honda セーフティナビ®）」は、大阪府下では2台しか導入されていないそうです。当院では3画面の最新タイプを導入しました。

この機種を活用して、さらにリハビリテーションの充実を目指します。皆さまご期待下さい。

社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL : 072-869-0116

FAX : 072-869-0135

発行 : 平成 27 年 10 月

発行者 : 地域連携課